

## 情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] オピオイド持続注射使用患者におけるオピオイドレスキュー量の違いによる有効性と安全性の比較

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 山本貴道

[研究責任者] 高科嘉章 (薬剤部・薬剤師)

[研究の概要]

■ 目的・方法 (研究期間も含む)

研究期間：2023年12月11日～2024年11月30日

目的：オピオイド持続注・皮下注のレスキュードーズ用量の違いによる、がん性疼痛に対する有効性と安全性を比較し、評価を行なうことを目的としています。

方法：通常診療の過程で記録されたカルテ情報より、がん性疼痛（突出痛）に対して上記の薬剤を使用したときの痛みの強さの変化や副作用、薬剤の用量を後ろ向きに研究します。

■ 対象となる患者さん

2021年10月～2024年9月に当院でがん性疼痛に対してモルヒネ、オキシコドン、フェンタニルの持続静注・持続皮下注を使用し、維持量投与となっている患者さん。

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：年齢、性別、病歴（癌種・神経障害性疼痛の有無）、鎮痛薬治療の治療歴（使用した薬剤の種類、オピオイドの維持用量、レスキュードーズ用量）、痛みの評価スケール（NRS）、副作用等の発生状況、血液検査結果（血中総蛋白、アルブミン、総ビリルビン、AST、ALT、LD、尿酸、尿素窒素、クレアチニン、ナトリウム、カリウム、カルシウム、マグネシウム値）等

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

高科嘉章、薬剤部

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971